

講義科目名称： 教育実習事前事後指導（小）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
笹川 実千代, 梅林 厚子, 柴山 浩一			
水2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>実習の現場となる小学校での教育実践について、教科・領域等の内容や授業及び生活指導に焦点をあてて紹介し、教育実習への問題意識を高め、実習生としての自覚を培う。さらに、授業観察・授業実践の在り方、とりわけ教材研究、学習指導案の作成、授業展開の実際、学習評価の観点、児童とのコミュニケーションなど可能な限り実習内容に即した指導を行う。実習前の直前指導、実習後の事後指導を適宜実施する</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（教育実習の意義と目的・実施計画） シラバスを事前に見ておくこと</p> <p>第2回 生活指導を授業づくり① 子どもの実態に即した生活指導の在り方について解説する。</p> <p>第3回 生活指導と授業づくり② 子どもの実態に即した一斉指導と個別指導について解説する。</p> <p>第4回 教材研究と学習指導案作成① 学習指導案の位置づけについて解説し、教科、単元ごとと教材研究と指導案づくりについて解説する。 実習時を想定して、具体的な教科・単元を決める。（グループ学習）</p> <p>第5回 教材研究と学習指導案作成② 単元目標、児童観・教材観・指導観の内容について理解し、作成する。</p> <p>第6回 教材研究と学習指導案作成③ 本時の展開について、本時の目標、板書計画等を作成する。</p> <p>第7回 教材研究と模擬授業 作成した指導案をもとに、発問・板書計画等授業を行う準備を行う。</p> <p>第8回 模擬授業① 1人ずつ模擬授業を行い、授業力を養う。</p> <p>第9回 模擬授業② 1人ずつ模擬授業を行い、授業力を養う。</p> <p>第10回 模擬授業③ 1人ずつ模擬授業を行い、授業力を養う。</p> <p>第11回 模擬授業④ 1人ずつ模擬授業を思内、除行力を養う。</p> <p>第12回 実習直前指導① 実習日誌の書き方等実習ハンドブックの内容の確認をする。 ※実習ハンドブックを事前に読んでおくこと</p> <p>第13回 実習着前指導② 実習ハンドブックを基に、実習の心得についての確認と提出書類の確認をする。</p> <p>第14回 実習事後指導① 小学校への教育実習を終えて、実習内容（学校運営・子ども理解・教材研究・研究授業等々）の各自振り返りをし、グループで交流をする。</p> <p>第15回 実習事後指導② 事後指導①での振り返りをもとに、めざす教師像を考える。</p>
学習到達目標	<p>○教育実習に向けて、教科指導、生徒指導（児童理解）など学校における教育活動全般にわたって実習への準備となる事項を習得する。</p> <p>○教員として求められる姿勢を学び、実践的指導力を培うことの重要性を理解する。</p> <p>○教材研究や学習指導案の作成の方法、授業実践力を身につける。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ 事例を基にしたグループワーク ・ 模擬授業等の実技 <p>など</p>
成績評価の方法	<p>日々のレポート 40%</p> <p>学習指導案作成・模擬授業 40%</p> <p>授業参加態度 20%</p>
教科書・テキスト	<p>学習指導要領 各教科児童用教科書 実習ハンドブック</p>

	授業時配付プリント
参考書	特に指定なし
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	各市町村、各小学校が募集している学習支援ボランティアなどへ積極的に参加し、授業を参観する機会や子ども理解につながる機会を積極的にもつこと。
履修上の留意事項	
オフィスアワー	火曜日 11:00～13:00 水曜日 13:00～14:00
担当教員への連絡方法	研究室 4-605（梅林） 4-609（柴山） 4-501（笹川）
その他	